

関プロ大会分科会（5分科会）での研究

南ブロック 生物育成 食生活と自立 【川口・北足立支部】	東ブロック 情報 家族・家庭 【北埼玉・北葛・南埼玉支部】	北ブロック エネルギー変換 消費生活と環境 【秩父・児玉・大里支部】	西ブロック 技術と加工 衣生活・住生活 【入間・比企支部】	さいたま市 教育課程 【さいたま支部】
---------------------------------------	--	---	--	---------------------------

研究の進め方

- (1) 研究の目的や研究の目標を確認する。
 埼玉県の研究テーマ「次代を担い、生き抜く力をはぐくむ学習指導の研究」
 埼玉県の研究仮説「社会参画を意識した体験的な活動を通して、自ら進んで学んだことを活用できれば、生涯にわたって視野を広く持ち、柔軟に課題を解決することができる能力や実践的な態度が養われるであろう」
- (2) 分科会ごとの研究組織を立ち上げる。(授業校、授業者の検討・決定)
- (3) 実態の把握をする。
 「次代を担い、生き抜く力をはぐくむ」のための学習指導をするためには、
 - 保護者・地域の実態を知る（生徒の持つ「生活する力」や技術・家庭科への要望など）
 - 生徒の実態を知る（発達段階・習熟度・生活環境など）
 - 生徒に不十分な力・備わっている力は何かを分析する。
 - どのような力をつける必要があるか。
 - そのためにはどうすればよいか。
- (4) 本県の研究テーマと研究仮説に基づいて、分科会ごとに、より具体的な「研究テーマ」と「研究仮説」を設定する。
- (5) 仮説にせまる具体的な研究を進める。
 - ① 仮説にせまる指導法を検討する。
 - ② 仮説の検証の方法を検討する。
 - ・研究仮説を取り入れた3学年間を見通した指導計画を作成する。
 - ・仮説の検証に必要な資料やその収集方法を検討する。
 - ・仮説の検証に必要な資料の作成をする。
 - ・評価計画や具体的な評価方法などの検討と評価資料の作成をする。
 - ③ 仮説の検証授業を設定する。
 - ・授業場面を設定する。
 - ・学習指導案を作成する。
 - ・教材、教具等の準備を行う。
- (6) 仮説の検証授業を実施する。(平成26年度・27年度の研究授業：プレ発表)
 - ・資料の収集
 - ・授業記録
 - ・授業後の生徒の変容の実態把握
- (7) 仮説の検証授業の分析と考察
- (8) 研究紀要の執筆
- (9) 教員研究発表会における提案
 【平成27年度には関東甲信越地区の理事会において中間報告のプレゼンテーションを行っていただきます。】
- (10) 指導計画等の修正
- (11) 関プロ本発表（研究紀要等の執筆を含む）